Fight for Justice 労働組合と社会的な連帯で公正な賃金と雇用を実現しよう！

道労連NEWS

発行日：2020.07.22

FIGHT FOR JUSTICE
THERE IS POWER IN A UNION ✊ SOLIDARTY FOREVER

発行：北海道労働組合総連合　〒003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目4−5　Tel：011−815−8181

中央最低賃金審議会

目安示さず地方に丸投げ

＜ 使用者側が「凍結」強弁、いまこそ内部留保を活用すべき！＞

たたかいは地方審議会へ〜「独自性の発揮」と「大幅引き上げ」を求めよう！

中央最低賃金審議会は22日、2020年度の最低賃金の目安額について「労使の意見の隔たりが大きく、目安を定めるに至らなかった」との結論を出しました。目安を示さなかったのはリーマン・ショック後の2009年度以来です。

道労連は、「賃金の低廉な労働者について、賃金の最低額を保障することにより、労働条件の改善を図り、もって、労働者の生活の安定、労働力の質的向上及び事業の公正な競争の確保に資するとともに、国民経済の健全な発展に寄与する」ことを目的とした最低賃金法第1条に反するものであり、「凍結」を強弁し続けて審議会の役割を阻害した使用者委員に対して強く抗議します。また、中小企業の経営困難を理由として述べていますが、そのための支援策を大幅に拡充すべきであり、何よりも使用者委員も籍を置く大企業がこの間に溜め込んできた莫大な内部留保を活用すべきであることを指摘します。

07/22 の中央最低賃金審議会の様子。最低賃金の目安をめぐり、連日連夜の審議が行われた。全労連スタッフは、行動を配置し、審議会に張り付きで情報を集めて逐一発信してきた。

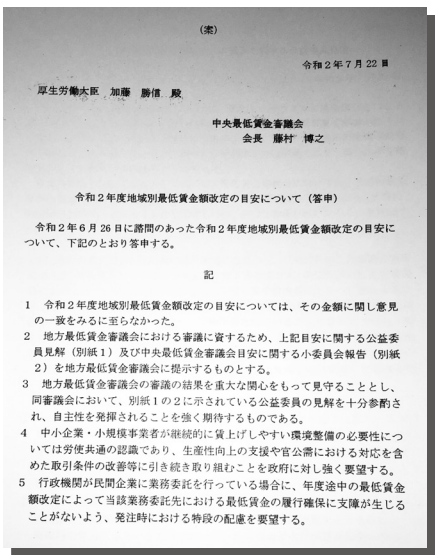
マスクはいまや必需品、実態直視し引上げを！

ー「GoToトラベル」は中止、10兆円の予備費使って中小支援をー

最低賃金の「全国加重平均」は901円です。この金額を上回っているのは東京、神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉、京都の7都府県のみ。あとの40道県は「平均以下」です。しかも、その格差の幅は年々拡大しています。

北海道の最低賃金は861円と、平均より40円も低い金額です。「GoToトラベル」キャンペンは、そもそも旅行に行くことすら困難、そんな余裕すらない人たちのことなど念頭になく、政府の考えを象徴する政策です。

いまや仕事にも欠かせず絶対的な「生活必需品」となっているマスクの購入費や、消費税10％増税分の負担が重くのしかかっていることを考えれば、最低賃金の「凍結（実質的）」をするなどありえません。



（案）

令和２年７月22日

厚生労働大臣　加藤　勝信　殿

中央最低賃金審議会
会長　藤村　博之

令和２年度地域別最低賃金額改定の目安について（答申）

令和２年６月26日に諮問のあった令和２年度地域別最低賃金額改定の目安について、下記のとおり答申する。

記

1　令和２年度地域別最低賃金額改定の目安については、その金額に関し意見の一致をみるに至らなかった。
2　地方最低賃金審議会における審議に資するため、上記目安に関する公益委員見解（別紙１）及び中央最低賃金審議会目安に関する小委員会報告（別紙２）を地方最低賃金審議会に提示するものとする。
3　地方最低賃金審議会の審議の結果を重大な関心をもって見守ることとし、同審議会において、別紙１の２に示されている公益委員の見解を十分参酌され、自主性を発揮されることを強く期待するものである。
4　中小企業・小規模事業者が継続的に賃上げしやすい環境整備の必要性については労使共通の認識であり、生産性向上の支援や官公需における対応を含めた取引条件の改善等に引き続き取り組むことを政府に対し強く要望する。
5　行政機関が民間企業に業務委託を行っている場合に、年度途中の最低賃金額改定によって当該業務委託先における最低賃金の履行確保に支障が生じることがないよう、発注時における特段の配慮を要望する。

現場のリアルこそ、引き上げへの原動力

ハッシュタグは #最低賃金は凍結でなく引き上げを

病院で働く清掃労働者は、ほぼ業務委託されています。その賃金水準は、ほぼ「最低賃金」です。エッセンシャル・ワーカーとして、医師や看護師がとても注目されています。大切なことです。同時に、感染リスクは同様に高い医療施設の清掃労働者には、焦点が向けられていません。

スーパーやコンビニで買い物をする際、お客は距離とって並び、短時間で買い物をませて店を出ていけます。しかし、店員はレジ前からは動けず、休憩以外は何時間もその場にいなくてはなりません。感染リスクは高いけれど、賃金はとても低い。

ドラッグストアでは、「マスクは、いつ入荷するのか！」と何度も何度も聞かれ、まるで「お前のせいだ」と叱責されているような状態に。時には大声で怒鳴られることも。精神的に追い込まれ、退職した人からの相談もありまし。某大手のドラッグストアも、求人はほぼ最低賃金からとなっています。心身の負荷は高いけれど、賃金はとても低い。

こうした食料品や日用品などの流通を支えている人たちの賃金は、圧倒的に最低賃金に影響を受けています。社会的役割は高いけれど、社会的位置づけは低いまま。エッセンシャル・ワーカーに注目が集まっていますが、その内実をもっと注目し、賃金を引き上げていくことが重要です。そのためにも最低賃金の引き上げは不可欠であり、切実に求められています。

来週27日（月）には、第3回目となる北海道地方最低賃金審議会が開催されます。道労連は、コロナ禍だからこそ「#最低賃金は凍結でなく引き上げを求めます」の声を大きく広げ、北海道地方最低賃金審議会に対して「独自性の発揮」と「大幅引き上げ」の実現を求めます。職場で、街頭で、SNSで、「#最低賃金は凍結でなく引き上げを」の声をあげましょう。